



# みらいつうしん

10月号

2024年10月1日  
田園調布学園大学  
みらいこども園  
園長 勝浦 芳子

## 言葉の大切さ

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔からよく言われますが、ようやく秋風が心地よい季節となりました。朝晩と日中の寒暖差を感じますので、引き続き体調管理には十分お気を付け下さい。

さて、秋といえば、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋・・・と思えば浮かべるとたくさんあります。散歩、遠足、お月見、ハロウィン等のイベントが目白押しで、読書の秋の如く、集中力も増し、たくさんの学びを吸収すると言われています。また秋は、味覚の秋ともいわれるように、梨、新米、秋鮭、栗、さつまいも、柿など旬な美味しい食べ物がたくさん実りを迎えることから、食欲が増し体力もパワーアップすることができますね。みらいこども園の子ども達も、秋の風を身体いっぱいに感じ、園庭を駆け回り、笑い声と元気な姿を見せてくれています。2学期に入り友達同士の関わりが増えたことで、小さな「子ども社会」にも大きな変化が生まれ、遊びもかなり活発になりました。好きなことを見つけて喜んで遊んでいる子、1つの遊びに夢中になっている子、仲の良い友達と会話をしながら遊びを共有し工夫して楽しんでいる子、お兄さんお姉さんの姿に憧れて、一生懸命挑戦する子など、十人十色ではありますが、たくさんの場面でより成長している姿が感じとれます。時に自分の思いが通らず泣いたり、落ち込んだり、相手を罵倒したり、手が出てしまうなどの心の葛藤もあるようです。人と関わることは、楽しいことだけではないので自らが環境に関わり、感じ、考えて行動できるようにしてほしいと願います。その中で最近、言葉遣いが乱れているなど感じることもあります。テレビやゲームなどで得た言葉を面白がって使ってみたり、人に対して「そんなこと言っているの？」と感じる言葉を使ってみたりと、ドキドキする場面があります。一方的に注意してもなかなか改善は難しいですが、人と共存しながら生きていくためには、言葉遣いはとても大事ですので、悪い言葉や人を傷つける言葉を発している時は、丁寧に子どもさんに問いかけて、気付けるよう方向づけていきたいと思えます。挨拶や感謝の言葉も、子どもさん自ら出てくるといいですね。根気よく声をかけながら導いていきたいと思えます。ご家庭でも、言葉の使い方や人生を左右されてしまうこともありますので、「言葉の大切さ」を伝えていただきたいと思えます。

ところで、9月21日は、乳児クラスの「親子で遊ぼう☆ふれあいひろば」が行われました。たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、「乳児さんでもこんなことができるの?」「こんなことに興味をもっているの?」と親子で遊びを体験することで、たくさんの発見が出来たと感想をいただきました。お子さんにとっていかに遊びが大切なのか少しの時間ではありましたが、感じ取っていただけたのではないかと嬉しく思います。次は、幼児クラスの「親子で遊ぼう☆ふれあいデイ」が10月12日に行われます。各学年、日頃体験していることを基に友達や保護者の皆さんと体を動かして楽しむ時間になるよう計画しています。一緒に競技に参加し、ご家庭では見られないお子さんの姿や成長も感じ取っていただければと思っています。みらいこども園ならではの行事をお楽しみください。



おばあちゃんとお手玉を



親子で遊ぼう☆ふれあいひろば



ふれあいデイに向けて国旗作り